



第29号

平成19年9月20日発行
千葉県漁業士会銚子支部
<事務局>
千葉県銚子水産事務所 改良普及課

銚子海匠 浜のイベント開かれる

平成19年7月15日(日)に銚子市漁協外川支所で恒例の「第13回きんめだいまつり」、7月22日(日)には海匠漁協で今回はじめての実施となる「旭市いいおか港・水産まつり2007」が開催されました。

「第13回きんめだいまつり」

平成19年7月15日、銚子マリーナ及び銚子市漁協外川支所で第13回きんめだいまつりが開催されました。台風4号が関東を直撃する荒天にもかかわらず、県内外から1万人もの人達が銚子産キンメダイ「銚子つりきんめ」を求めて来場してくれました。

神事、開会式の後、『銚子つりきんめ』千葉ブランド水産物認定披露試食会が行われました。冒頭で、銚子市漁協 鈴木丈晴 青年漁業士が、キンメダイのブランド化に永年取り組んでいる外川地区漁業者の活動について発表しました(18年度の全国青年・女性漁業者交流大会で水産庁長官賞受賞)。また、銚子市すし商組合の協力による試食会が行われ、堂本知事をはじめ、来賓の皆さん



が舌鼓を打ちました。

一般のお客様へのキンメダイの試食・販売は、風雨により当初の予定を変更し、急きょ銚子市漁協外川支所に場所を移して実施されました。風雨強まる中朝早くから人が並び、用意した2000尾のキンメダイは昼までには完売しました。

「旭市いいおか港・水産まつり2007」

平成19年7月22日、旭市いいおかみなと公園において「旭市いいおか港・水産まつり2007」が開催されました。こちらのイベントは今回が初の試みで、また前の週のきんめだいまつりほどではないものの、梅雨前線が居座った雨模様の中での開催となりました。



どうなるのかと心配されました、ふたを開けてみると1万5千人ものお客さんが会場に訪れ、大盛況でした。

海匠漁協貝桁部会、まき網部会、そしてしろうお部会青年部、刺網部会青年部がそれぞれ出店し、活魚・鮮魚などを販売しました。いずれも鮮度抜群でなおかつ小売価格より割安とあって、盛況を博していました。

なお、このイベントは来年度以降も継続して実施していくことになっており、次回は20年5月下旬の実施を予定しています。

全 域 ヒラメ放流・マダイ中間育成

①ヒラメ種苗放流

平成19年7月17日から管内の各地域(銚子～九十九里)において、ヒラメの種苗放流がおこなわれました。

千葉県水産総合研究センター種苗生産研究所で種苗生産され、(財)千葉県水産振興公社で中間育成されたヒラメ種苗(全長約80mm)が元気よく海に旅立ちました。(管内合計約24万尾)



②マダイ中間育成及び放流

平成19年7月20日から海匠漁協、銚子市漁協(小底)、同(外川)の順にマダイの中間育成が実施されました。受入時に全長43mmだったマダイの稚魚は約30日間の中間育成により約78mmの大きさにまで育ち、3か所の合計で14万8千尾を無事に放流することができました。今年の生残率はいずれも約70%であり、順調に実施することができました。

なお、九十九里町漁協(片貝漁港)のマダイの中間育成は、昨年に続き今年も休止しています。

全 域 青少年水産教室開催

平成19年6月に、銚子市内の小中学校で青少年水産教室を開催しました。青年漁業士 小畑輝明さん(照丸)は、明神小学校の5年生を対象に、小型底びき網漁業の漁の方法や捕れる魚、小さな魚を逃がす工夫をした漁具の話をしました。また指導漁業士 豊倉利美さん(豊永丸)は、双葉小学校の5年生に、キンメダイ漁の操業方法や資源を守るための操業ルールの話をしました。また、豊倉さんは、銚子四中の1年生にも漁師という職業についての説明し、漁師になって良かったことなどをお話しました。



ビデオや実物の漁具や魚を見せての授業に、生徒さん達も熱心に話を聞き、質問をしていました。話を聞いた生徒さん達が、少しでも千葉の海や漁業に興味を持ってくれたらと期待しています。講師を引き受けてくださった豊倉さん、小畑さん、ありがとうございました。



ご意見やご感想、情報提供などありましたら、
千葉県銚子水産事務所 改良普及課までご連絡ください。
連絡先：電話 0479-22-8397(代表)
FAX 0479-22-9168